

湖北広域行政事務センター  
新一般廃棄物処理施設整備運営事業  
優先交渉権者選定基準

令和4年4月11日

湖北広域行政事務センター



## 目 次

本書の位置づけ .....	1
第 1 章 優先交渉権者決定の手順 .....	2
1 優先交渉権者決定までの審査手順の概要.....	2
2 参加資格審査.....	3
3 提案審査 .....	3
第 2 章 提案審査における点数化方法 .....	5
1 提案審査の配点.....	5
2 非価格要素審査の得点化方法.....	5
3 価格審査の得点化方法.....	8
4 総合評価値 .....	8
別紙 非価格要素審査における審査項目及び配点 .....	9

## 本書の位置づけ

優先交渉権者選定基準は、湖北広域行政事務センター（以下「センター」という。）が「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）第7条の規定に基づき、令和4年3月30日に特定事業として選定した「湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設整備運営事業」（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者の募集・選定を行うにあたって、応募しようとする者を対象に交付する募集要項と一体のものである。

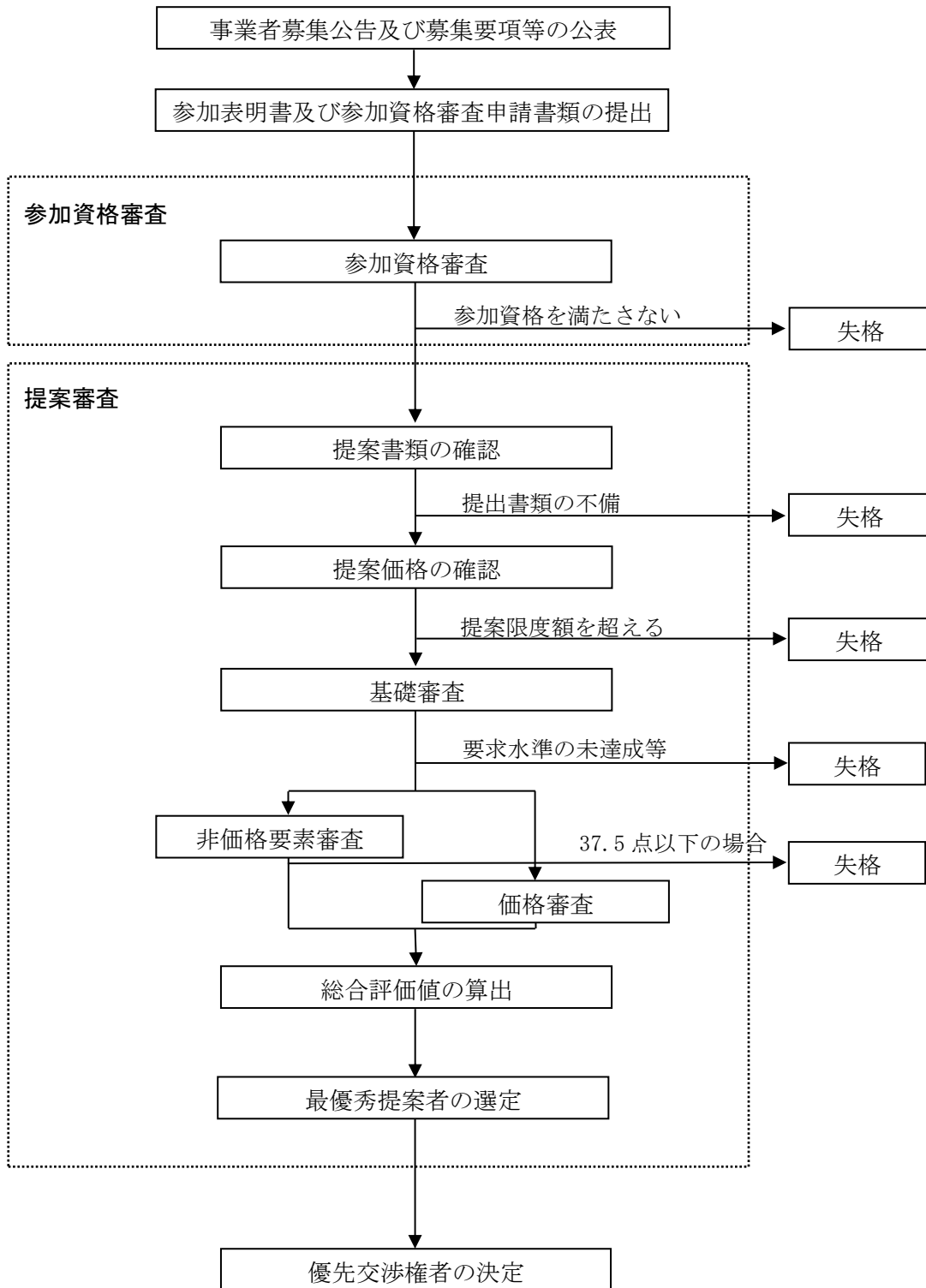
優先交渉権者選定基準は、優先交渉権者を選定するにあたって、応募者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価・選定するための方法及び基準等を示し、応募者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

最優秀提案者の選定にあたっての審査は、公平性及び透明性を確保するとともに、客観的な評価等を行うために設置している「湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において行う。

# 第1章 優先交渉権者決定の手順

## 1 優先交渉権者決定までの審査手順の概要

本事業における事業者の選定は、公募型プロポーザル方式に基づき、次の手順で実施する。



## 2 参加資格審査

### 1) 参加資格審査

センターは、応募者から提出される参加資格審査に関する書類をもとに、応募者が満たすべき参加資格要件について審査する。参加資格要件を満たさない場合は、失格とする。

## 3 提案審査

### 1) 提案書類の確認

センターは、応募者に求めた提案書類が全て揃っていることを確認する。提出書類に不備のある場合は、失格とする。

### 2) 提案価格の確認

センターは、提案金額書に記載された提案価格が提案限度額を超えていないことを確認する。提案価格が提案限度額を超える場合は、失格とする。

### 3) 基礎審査

センターは、提案書類に記載された内容が、基礎審査項目を満たしていることを確認する。提案内容が基礎審査項目について1項目でも満たさない場合は、失格とする。

基礎審査項目は、以下のとおりである。

審査対象	基礎審査項目	対応様式
共通事項	<ul style="list-style-type: none"><li>提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案または提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。</li><li>提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。</li></ul>	すべての様式
基本方針に関する提案書	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（別添「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li></ul>	様式 6-1～6-4
設計・建設及び運営に関する提案書		様式 7-1～7-21
事業計画に関する提案書	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（別添「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li><li>リスク分担に関し、募集要項等で示したリスク分担との齟齬がないこと。</li></ul>	様式 8-1～8-9
設計図書	<ul style="list-style-type: none"><li>記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li></ul>	—

### 4) 非価格要素審査及び価格審査

#### (1) 非価格要素審査

選定委員会は、応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について審査を行い、審査項目ごとに得点化する。

(2) 価格審査

選定委員会は、応募者から提出された提案金額書に記載された提案価格（税抜）について第2章3に従い、得点化する。

5) 総合評価及び最優秀提案者の選定

選定委員会は、非価格要素審査の得点及び価格審査の得点の合計（総合評価値）が最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価点の最も高い者が複数あるときは、非価格要素点が高い提案者を最優秀提案者とし、これも同点である場合は、複数の最優秀提案者を選定する。

6) 優先交渉権者の決定

センターは、選定委員会の選定結果をもとに優先交渉権者を決定する。複数の最優秀提案者が選定された場合は、くじにより優先交渉権者を決定する。結果については、センターホームページで公表する。

## 第2章 提案審査における点数化方法

### 1 提案審査の配点

提案審査は、提案書類の確認及び提案価格の確認の後、基本方針に関する事項、設計・建設及び運営に関する事項、事業計画に関する事項並びに提案価格の各審査項目について提案内容を得点化し、得点の合計値を総合評価値とする。なお、配点及び得点化方法については、センターが本事業に対して民間の創意工夫を期待する度合いを勘案して設定したものである。

審査項目（大項目）	配点
<b>非価格要素審査</b>	<b>150点</b>
1 基本方針に関する事項（18点）	
(1) 事業実施方針	3点
(2) 地域との共生	15点
2 設計・建設及び運営に関する事項（120点）	
(1) 環境保全に配慮した安心な施設【快適性】	9点
(2) 安全で安定的な稼働ができる施設【機能性】	51点
(3) 循環型社会形成に貢献できる施設【環境性】	15点
(4) 市民に親しまれる施設【好感度】	15点
(5) 経済性に配慮した施設【効率性】	30点
3 事業計画に関する事項（12点）	
(1) 事業の安定性及び長期収支の安定性	6点
(2) リスク管理	6点
<b>価格審査</b>	<b>50点</b>
<b>合計</b>	<b>200点</b>

### 2 非価格要素審査の得点化方法

#### 1) 非価格要素審査の項目及び配点

非価格要素審査の審査項目及び配点は、別紙「非価格要素審査における審査項目及び配点」を参照すること。

#### 2) 審査項目の判断基準

非価格要素審査は、別紙に示す「小項目」ごとに行い、次に示す5段階評価に基づき選定委員会の各委員が個別に評価を行い、その平均値を得点として付与する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

なお、非価格要素審査の得点（配点150点）が37.5点以下の場合は、失格とする。



評価	判断基準	得点化方法
A	提案の効果に非常に大きな期待ができる	各項目の配点×1.00
B	提案の効果に大きな期待ができる	各項目の配点×0.75
C	提案の効果に期待ができる	各項目の配点×0.50
D	提案の効果は想定どおり	各項目の配点×0.25
E	提案の効果にあまり期待ができない	各項目の配点×0.00

ただし、次の審査項目については、提案数値に基づき、各々の算定式により得点を付与する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

(1) 地域への貢献（様式 6-3）

地元企業への発注予定金額（様式 6-3「ウ地元発注予定」の「(1)設計・建設期間」と「(2)運営期間」の発注予定金額の合計）の提案に基づき、次のとおり得点化する。

$$\text{地元発注予定金額（税抜）} \div \text{（25 億円／点）}$$

※ただし、6 点を上限とする。

(2) 稼働実績件数（様式 7-6）

指定する施設の稼働実績件数及び焼却施設の解体撤去工事实績件数の提案に基づき、次のとおり得点化する。

① 設計・建設実績

ア 熱回収施設（焼却施設）

件数	得点
11 件以上	1 点
8～10 件	0.75 点
5～7 件	0.5 点
2～4 件	0.25 点
1 件	0 点

イ 熱回収施設（バイオガス化施設）

件数	得点
3 件以上	1 点
2 件	0.5 点
1 件	0 点

ウ 汚泥再生処理センター

件数	得点
11 件以上	0.50 点
8～10 件	0.375 点
5～7 件	0.25 点
2～4 件	0.125 点
1 件	0 点

② 解体撤去工事实績

件数	得点
3 件以上	0.50 点
2 件	0.25 点
1 件	0 点

(3) 発電量・売電量（様式 7-11）

焼却施設の発電量・売電量とバイオガス化施設の発電・売電量の配点を以下のとおり設定する。

【焼却施設の発電量・売電量の配点】

焼却施設の最高提案売電額 ÷ (焼却施設の最高提案売電額 + バイオガス化施設の最高提案売電額) × 3 点

【バイオガス化施設の発電・売電量の配点】

バイオガス化施設の最高提案売電額 ÷ (焼却施設の最高提案売電額 + バイオガス化施設の最高提案売電額) × 3 点

発電量・売電量の提案に基づき、上記配点より、焼却施設、バイオガス化施設それぞれについて最高提案売電額の提案者は満点とし、最高提案売電額の提案者以外については次のとおり得点化する。ただし、得点の最低点はゼロ点とする。

【焼却施設】

焼却施設の発電量・売電量の配点 = { (焼却施設の最高提案売電額 - 当該者の焼却施設の提案売電額) × 0.9 ÷ 10 }

**【バイオガス化施設】**

バイオガス化施設の発電・売電量の配点 － { (バイオガス化施設の最高提案売電額  
－ 当該者のバイオガス化施設の提案売電額) × 0.9 ÷ 10}

※提案売電額は 18 年間の合計額とする。

**3 価格審査の得点化方法**

価格審査については、定量化限度額を設定するものとし、提案価格（税抜）を次の方法で得点化する。最低提案価格は、全ての応募者（失格者を除く）の提案価格のうち最低の提案価格をいう。

**算定式① 【最低提案価格 ≧ 定量化限度額の場合】**

当該者の提案価格の得点 = (最低提案価格 / 当該者の提案価格) × 50 点 (配点)  
※得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

なお、定量化限度額については次のとおり設定するものとする。定量化限度額以下の提案価格を提示した応募者の提案価格の得点は全て 50 点とする。ただし、定量化限度額を下回る提案価格とすることを妨げるものではない。

**算定式② 【最低提案価格 < 定量化限度額の場合】**

定量化限度額を、提案限度額のうち、本施設的设计・建設に係る対価相当分の 92.0%  
と運営に係る対価相当分の 85.0%の合計と設定する。(金額は非公表)

(1) 提案価格 ≦ 定量化限度額の場合

当該者の提案価格の得点 = 50 点

(2) 提案価格 > 定量化限度額の場合

当該者の提案価格の得点 = (定量化限度額 / 当該者の提案価格) × 50 点 (配点)

※得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

**4 総合評価値**

非価格要素審査の得点と価格審査の得点の合計値を総合評価値とする。

別紙 非価格要素審査における審査項目及び配点

審査項目				提案書	評価点
大項目	中項目	小項目	区分	評価のポイント	
<b>1. 基本方針に関する事項</b>					<b>18</b>
<b>(1) 事業実施方針</b>					<b>3</b>
	⑦事業実施方針と実施体制			①事業コンセプト ②事業実施体制	6-1 3
<b>(2) 地域との共生</b>					<b>15</b>
	⑦地域との連携			①地域との連携、信頼関係構築 ②住民への情報発信 ③災害時の防災拠点機能	6-2 3
	⑧地域への貢献			①地域貢献	6-3 6-4 12
<b>2. 設計・建設及び運営に関する事項</b>					<b>120</b>
<b>(1) 環境保全に配慮した安心な施設【快適性】</b>					<b>9</b>
	⑦安心・安全な工事の実施	施設整備工事の実施	設計・建設	①施設整備工事中の環境・安全確保 ②工程管理・工法の確実性・効率性	7-1 3
		解体撤去工事の実施	設計・建設	①解体工事中の環境・安全確保 ②工程管理・工法の確実性・効率性	7-2 3
	⑧環境負荷の低減	環境負荷低減	設計・建設 運営	①公害防止基準の確実な遵守 ②公害防止のための監視方法、基準超過予防対策	7-3 3
<b>(2) 安全で安定的な稼働ができる施設【機能性】</b>					<b>51</b>
	⑦安定稼働の実現	システム連携	設計・建設	①4施設が安定的かつ有機的に連携するシステム（複数の施設間で連携した総合的廃棄物処理システムの構築）	7-4 12
		安定運転	設計・建設 運営	①ごみ処理システム設計内容 ②汚泥処理システム設計内容 ③季節・経年変動への対応 ④運営の配置人数や経験・資格者 ⑤点検計画、メンテナンス計画	7-5 12
		実績件数	設計・建設・運営	①稼働実績件数	7-6 3
		搬入搬出計画	設計・建設 運営	①各施設の配置計画 ②工場動線・見学動線安全性 ③搬入出車両への対応 ④メンテナンスを考慮した配置・動線計画 ⑤プラットホーム、受入ヤードの安全性・効率性 ⑥一般搬入者の受付～支払 ⑦トラブル回避、動線、誘導方法 ⑧収集車両・一般車両の渋滞緩和、安全確保 ⑨バイオガス化施設を活かすごみの選別等方策 ⑩処理困難物・搬入不適物の対応 ⑪ストックヤードの管理	7-7 12
		緊急トラブルへの対応	設計・建設 運営	①各施設で想定されるトラブルと対応策 ②トラブルに対する事前・事後対策 ③緊急時を想定した対応	7-8 6
	⑧災害に強い施設整備	災害に強い施設	設計・建設	①建築物の構造計画 ②構造・設備の耐震性、耐雪性	7-9 3
		災害・非常時への対応	設計・建設 運営	①災害後の安定稼働、早期稼働 ②災害時の受入・処理計画 ③非常時の事業継続の方策 ④災害廃棄物への対応	7-10 3
<b>(3) 循環型社会形成に貢献できる施設【環境性】</b>					<b>15</b>
	⑦エネルギー・資源の有効利用	有効な発電計画	設計・建設・運営 設計・建設 運営	①発電量・売電量 ②売電の最大化のための方策 ③売電の最大化のための運営計画	7-11 7-12 9
		資源化の促進	設計・建設 運営	①資源化物の回収（品質、量） ②最終処分量（焼却灰・飛灰）の低減 ③資源物回収量向上のための運営計画	7-13 6
<b>(4) 市民に親しまれる施設【好感度】</b>					<b>15</b>
	⑦環境学習・啓発の推進	環境学習啓発機能	設計・建設 運営	①環境学習啓発機能 ②見学者ルート ③見学者対応への支援 ④多様な見学者の受入計画	7-14 9
	⑧周辺環境との調和	意匠・景観計画	設計・建設	①意匠デザイン ②周辺環境との調和	7-15 6
<b>(5) 経済性に配慮した施設【効率性】</b>					<b>30</b>
	⑦経済性への配慮	ライフサイクルコストの低減	設計・建設・運営	①ごみ量・し尿汚泥量減少への対応 ②省エネルギーへの取組み ③用役使用量の削減対策	7-16 9
		センター実負担額の低減	設計・建設・運営	①センターの実負担額低減（交付金獲得）のための方策 ②センターの実負担額低減（運営費低減化）のための方策	7-17 7-18 9
		長寿命化計画	設計・建設 運営	①長寿命化に向けた施設整備 ②長寿命化に向けた設備計画 ③長寿命化計画、修繕計画 ④事業期間後の引渡し条件 ⑤事業期間終了後のアフターケア	7-19 7-20 3
	⑧効果的な施設間連携の実現	施設間連携計画	設計・建設・運営	①施設集約（一極集中）によるメリット ②施設集約（一極集中）によるコスト削減効果	7-21 9
<b>3. 事業計画に関する事項</b>					<b>12</b>
<b>(1) 事業の安定性及び長期収支の安定性</b>					<b>6</b>
	⑦資金調達・長期収支計画			①出資計画 ②金融機関の融資 ③合理的・健全な長期収支計画 ④配当政策	8-1～ 8-7 3
	⑧財務の健全性・安定性			①資金管理方法 ②財務モニタリング ③資金不足発生時の対応策	8-8 3
<b>(2) リスク管理</b>					<b>6</b>
	⑦リスク管理			①リスク管理体制 ②事業特性を踏まえたリスク認識・対応策 ③事業特性を踏まえた保険付保 ④セルフモニタリング計画	8-9 6